

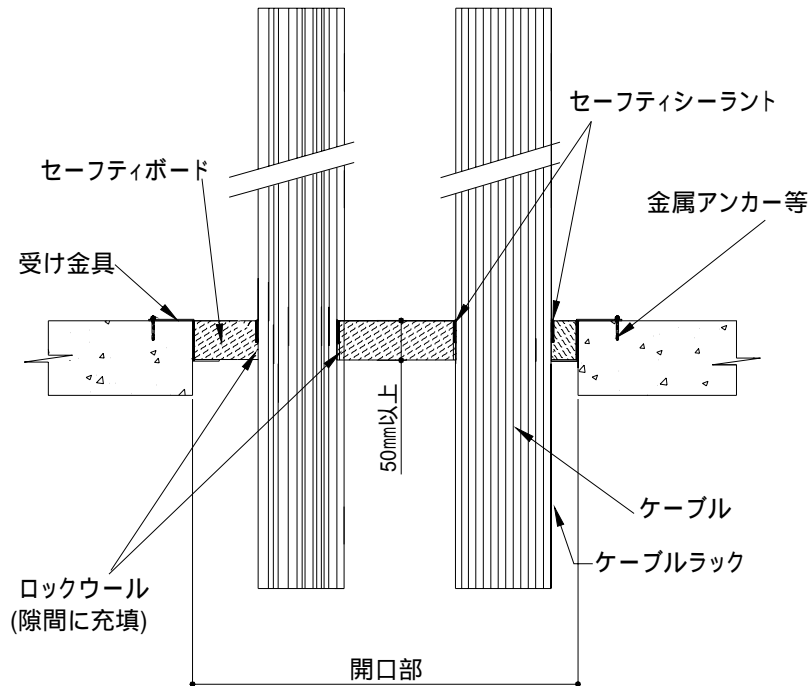


# Hilti ファイアーストップ°システム

## 施 工 要 領 書

(3)床工法(鋼製枠なし) PS060FL - 0199

日本ヒルティ株式会社



### < 施工手順 >

#### 1. 開口部確認

施工部のサイズ等を確認し、ホコリ・油分などを除去する。

#### 2. 受け金具取付

2 段ラック区間貫通部の場合、短辺方向はボードジョイント部 4 箇所、長辺方向は中央部 2 箇所、合計 6 箇所を受け金具を取り付ける。

#### 3. セーフティボード準備

開口部で採寸し、ボードを切断する。開口部と接する部分及びボードとボードのジョイント部には予めセーフティシーラントを塗布する。

#### 4. ボード取付

3. で準備した各ボードを施工側床天端と面一に取り付ける。

#### 5. セーフティボードの隙間処理

ボードとケーブル・ケーブルラック等との間の隙間には、セーフティボードのロックウール部を充填し、セーフティシーラント充填用の目地スペースを確保する。

#### 6. セーフティシーラント充填

ボードとケーブル・ケーブルラック等との間の隙間・目地にシーラントを充填する。ヘラ又は水で濡らした指などでシーラント表面を平滑に仕上げる。

### < 基準値 >

- ・ セーフティボード 50mm 以上。
- ・ 開口面積は、 $0.6\text{m}^2$  以下とする。
- ・ ケーブル占積率 30% 以下、貫通するケーブル  $325\text{mm}^2$  以下(1 本あたり)とする。
- ・ 鋼製電線管 75 以下、合成樹脂製可とう電線管 36 以下とする。